武豊町社会福祉協議会が地域の福祉情報をお届けします

わたしたちは、地域の人々のつながりを大切にし、一人ひとりの「ふだんの くらしの しあわせ」をともに追求します

たけとよのふくし

第145号
令和元年8月1日号

【写真】ペットボトルのふた※を持って来てくれました。
（西保育園のみなさん）
※開発途上国の子どもたちへのワクチン支援ができます。

主な内容

2 武豊町社会福祉協議会役員紹介
3 日常生活自立支援事業の紹介
4 ここちゃんリポート
●NPO法人 ゆめじろう 放課後等デイサービス こじろう
●富貴小学校親子ふれあい教室
5 ●ふれあい昼食会
●老人クラブ連合会チャリティーカラオケ発表会
6 ◆「地域の宝物」紹介
◆ 地域包括支援センターコーナー
7 車いす・福祉車両の貸出し・行事予定・寄付御礼
8 参加者募集 権利擁護サポーター養成講座
より良いコミュニケーションに役立つ「聴き方講座」

ここちゃん 武豊町社会福祉協議会マスコットキャラクター

http://www.taketoyo-shakyo.com 武豊社協 検索

この広報誌は、みなさまから寄せられた社会福祉協議会費を財源に作成しています。

編集発行：社会福祉法人武豊町社会福祉協議会　武豊町字長尾山２番地　電話 0569-73-3104　FAX 0569-73-8377

社会福祉法人 武豊町社会福祉協議会　役員紹介

武豊町社会福祉協議会
会 長
木 村 保 夫

会長再任のごあいさつ

令和元年6月25日付けをもちまして、武豊町社会福祉協議会会長に再任いたしました木村保夫でございます。引き続き、地域福祉の推進のために専心努力してまいる所存でありますので、よろしくお願いいたします。

また、令和元年度の武豊町社会福祉協議会会員加入のお願いを6月に実施させていただきました。多くの皆様にご協力をいただき、誠にありがとうございました。皆様からいただきました会費は、武豊町で行う地域福祉事業のために大切に使わせていただきます。

さて近年、少子・高齢化の進行に伴い、人口減少や人生100年時代を迎えております。また働き方の多様化に伴い、家族関係・ライフステージ・地域社会の在り方も大きく変化してきています。その中で、孤独死や自殺、引きこもりなど社会的孤立の問題、生活困窮や低所得の問題、虐待や悪質商法などの権利擁護の問題など、地域社会が抱える福祉・地域生活課題は、複雑・多様化し家庭や公的制度だけでは対応が難しくなってきております。

こうした中で、誰もが支え合う地域共生社会の実現に向けて、身近な地域での住民相互のつながり、支え合いを前提とした地域課題解決の体制づくり、様々な関係機関が連携していく総合的な相談体制の構築等について、社会福祉協議会の役割が期待されております。

私たち役職員一丸となって、地域の皆さんとともに、地域に密着した活動を積極的に展開してまいりますので、一層のご支援とご協力をお願いいたします。

社協の組織

- 顧　問
- 住民（会員）
- 理事会（業務執行機関）
- 評議員会（議決機関）
- 監事会（監査機関）
- 事務局
  - ・法人運営部門
  - ・地域福祉活動推進部門
  - ・福祉サービス利用支援部門
  - ・在宅福祉サービス部門
  - ・施設管理部門

〈理事〉

（任期 令和元年6月25日～令和3年6月定時評議員会）

会　　長	木村　保夫	ボランティア活動を行う団体の代表者
副 会 長	小塚南海子	地域の福祉関係者
副 会 長	中川美知夫	地域の代表者
理　　事	森　　充代	社会福祉関係団体の役職員
理　　事	中川　善文	社会福祉関係団体の役職員
理　　事	角皆　　宏	地域の福祉関係者
理　　事	吉井　　覚	社会福祉施設の代表者
理　　事	石橋　信幸	教育関係代表者
理　　事	飯田　浩雅	社会福祉関係行政職員
常務理事	杉江　保光	社会福祉協議会職員

〈監事〉

（任期 令和元年6月25日～令和3年6月定時評議員会）

監　事	村山きぬ子	社会福祉事業に識見を有する者
監　事	小山　茂三	財務管理について識見を有する者

〈顧問〉

（任期 令和元年6月25日～令和3年6月定時評議員会まで）

顧　問	籾山　芳輝	武豊町長

〈評議員〉（任期　平成29年4月1日～令和3年定時評議員会）

氏　名	選出母体	氏　名	選出母体	氏　名	選出母体
青木　久子	社会福祉事業について学識経験を有する者	出口　雅彦	地域の代表者	山本　憲司	社会福祉施設の代表者
籾山　恭範	地域の福祉関係者	永田　義雄	地域の代表者	中島　崇博	医療関係の代表者
山本　明利	地域の福祉関係者	岡田　弘子	社会福祉関係団体の役職員	榊原　孝彦	教育関係の代表者
堀家泰司郎	地域の福祉関係者	森田　高志	社会福祉関係団体の役職員	廣澤　賢治	経済団体の代表者
横山　範一	地域の福祉関係者	下鶴　正澄	社会福祉関係団体の役職員	榊原　延幸	経済団体の代表者
山田　英資	地域の福祉関係者	倉知　楯城	社会福祉関係団体の役職員	長澤　秀喜	社会福祉関係行政職員
戸嶋　幸兼	地域の代表者	植田　朝子	社会福祉関係団体の役職員	櫻場　敬信	ボランティア活動を行う団体の代表
青木　祐一	地域の代表者	伊藤　重之	社会福祉関係団体の役職員		
近藤　恭行	地域の代表者	田島　通隆	社会福祉関係団体の役職員		

～日常生活自立支援事業の紹介～

日頃の生活の中でこのようなことに困っていませんか？

・通帳やハンコの保管に不安がある。
・お金の出し入れや日常的な金銭管理に不安がある。
・障がい福祉サービスや介護保険サービスを利用したいけれど、
　どのように手続きすればよいかわからない。

認知症・知的障がい・精神障がい等で判断能力が不十分なため、福祉サービスの利用や金銭管理等がうまくできない方々が対象です。

援助の内容は次のとおりです。

① 福祉サービスの利用援助

福祉サービスを安心してご利用できるようにお手伝いします。

～具体的には～

・福祉サービスに関する情報提供、紹介、助言
・サービス申込の手続き代行や同行

② 日常的金銭管理サービス

毎日の暮らしに欠かせないお金の出し入れをお手伝いします。

～具体的には～

・一定額の預貯金の出し入れ
・公共料金
・福祉サービス利用料の支払い
・年金、手当等の受領確認など

③ 書類等の預かりサービス

大切なハンコや証書などを安全な場所でお預かりします。

～具体的には～

・預貯金通帳、権利証書、保険証書
・実印、銀行印等の書類など

ご利用までの流れ

(1) 武豊町社会福祉協議会にご相談ください。
本人以外にもご家族など身近な方からの問い合わせにも対応します。

(2) 職員がご自宅に伺い、訪問調査をします。
相談にあたってはプライバシーに配慮して秘密を守ります。

(3) 愛知県社会福祉協議会の契約締結審査会で審査を行います。

(4) 本人と武豊町社会福祉協議会で契約します。
本人の希望を伺い、支援計画を作成します。

(5) 支援計画に沿って、「生活支援員」がお手伝いをします。

※最初の相談からご利用まで１～２ヵ月かかります。

利用料について

①福祉サービスの利用援助 ②日常的金銭管理サービス	①・②1 回 1,200 円 （生活保護受給者は無料）
③書類等の預かりサービス	③月額 250 円

お問い合わせ先

武豊町社会福祉協議会内
地域福祉サービスセンター　TEL：73−3104

ここちゃんリポート

「放課後等デイサービス　こじろう」へ行ってきました！

「放課後等デイサービス　こじろう」は、学齢期の子どもさんを対象に放課後及び長期休暇の活動スペースを提供され、地域のなかで有意義に過ごせるよう取り組まれている障害児通所支援事業所です。

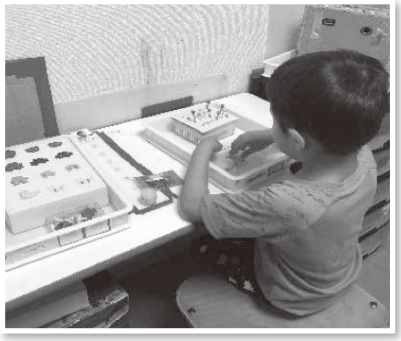
主な取り組み内容は、個別の作業や近くのお店でお買い物・おやつ作り、好きな遊びを行っており、学校がお休みの日には、プールやお出かけなど様々な取り組みをされています。

こじろうでは、来所時に、個別のスケジュールの中から、自分の余暇時間をどのように活動するか、子どもたちが組み立てることからスタートします。

取材の日は、スタッフと一緒にお買い物やおやつ作り、個別の作業やカード遊び、お絵かきなどの活動をしていました。

さまざまな学齢期の子どもたちが利用され、集団活動をしていく中で、コミュニケーションの取り方、社会生活に必要な力を実践しながら身につけられるように支援されていました。

担当の榊原さんは、「こじろうでは、できることは自分でする。困ったことがあった時は、周りの人に自分から助けを求めることができるようになってほしい」また、「ここでできたことを、自宅や他の場面でもできるようになったらいいなと思って支援しています」とお話しされていました。



一人でできることは自信につながります
（自立課題の様子）

二人で相談、ひと工夫していました
（おやつ作りの様子）

■問合せ先
特定非営利活動法人　ゆめじろう
住所：〒470-2531　武豊町冨貴字外面85番地2　TEL：0569-72-0012

「富貴小学校　親子ふれあい教室」

6月8日（土）、富貴小学校の親子ふれあい教室に行ってきました。

この親子ふれあい教室は、各学年でテーマをもって「親と子で学ぶ」というものです。社会福祉協議会は、四年生の授業で「福祉」をテーマに「高齢者について学ぶ教室」の担当をさせていただきました。

教室の内容は、高齢者疑似体験と車いす体験です。

「高齢者疑似体験」では、ボランティアグループゆめすけの皆さんが講師として、高齢者の方の気持ちや声のかけ方についてお話をしてくれました。また子どもたちは、80歳の体の動きを疑似体験できる装具をつけ、階段の昇降や折り鶴作りを行い、足腰の動きの重さ、細かな作業の困難さ等を体験しました。

「車いす体験」では、職員から、車いすの方が困ること（右記写真を参照）について話をしたあと、実際に車いすに乗る人、介助する人とペアになり、段差や障害物がある道を車いすで通ってみるという体験をしました。

体験後、「車いすの方が道を通りやすいように、自転車を置くとき気を付ける!」など意見をいただきました。

「ふれあい昼食会」

社会福祉協議会では、65歳以上のひとり暮らしの方々に、楽しく食事をしながら交流をしていただける「ふれあい昼食会」を年2回開催しています。

多くの方にご協力いただき、7月3日(水)に令和元年度第1回「ふれあい昼食会」を中央公民館で開催しました。当日は約140人の方が参加し、「武豊町食育健康づくりグループ」のみなさんに作っていただいたおいしい五目ごはんなどをいただきました。また、絵本の読み聞かせボランティア「おへその会」さんによる昔ばなしなどの読み聞かせや、「合唱団みずすまし」さんによる合唱などを一緒に楽しみました。

参加者より「とても楽しかった」「参加すると若返っていくよう」といった言葉をいただきました。次回は11月を予定しています。

第7回 老人クラブ連合会チャリティーカラオケ発表会

毎年恒例となっております、老人クラブ連合会主催のチャリティーカラオケ発表会が6月29日(土)にゆめたろうプラザ輝きホールで開催されました。第7回目は初めて土曜日の開催にしたため、お孫さんたちが応援に駆けつけて、賑やかに盛り上げていただきました。歌声を披露された方々はきらびやかな装いで、日々の練習の成果を存分に発揮されました。

オープニングセレモニーでは、武豊町の方で、CDデビューされた、詩吟講師の関了鳳さんに新曲を披露していただきました。また、プロの歌手として活躍されている鹿島滉人(かしまあきと)さん、和多留(わたる)さんがお越しくださいました。

まだ老人クラブに入っていない方は是非入っていただき、来年は一緒に会場を盛り上げてみませんか?老人クラブに加入希望の方は、武豊町社会福祉協議会までお問合せください。

★当日集まったチャリティー募金は、81,259 円でした。
ご協力頂いた皆様、ありがとうございました!

地域の宝物紹介

第六回

「配食ボランティアとして、ひとり暮らしの高齢者などに食事を届けている山田ミギハさん（84）」

このコーナーでは毎回「地域の宝物」と題して、地域福祉を支える居場所やサービス、人物等の紹介をしています。

山田ミギハさんは、武豊町社会福祉協議会で実施している「配食サービス」のボランティアとして約7年間、地域の高齢者や障がいがある方のお宅へ食事を届けています。

同サービスは、町内の高齢者施設「特別養護老人ホームくすのきの里」で調理した食事を、利用されている方のお宅へ、ボランティアが直接手渡しで届けるサービスです。

山田さんが配食ボランティアを始めたきっかけは「自分自身のためにも多くの人と関わる活動をしたいと思っていたら、社会福祉協議会の職員さんが声をかけてくれたから」でした。

自動車運転免許証を返納した現在も、電動アシスト自転車や徒歩で週2回、食事をお届けすることで、利用されている方の生活を支えています。「お弁当を届けた時に『ありがとう』と言ってもらえることが一番うれしく、やりがいにつながっている」とのことです。

また、ボランティアをすることで「自分自身の生活に張りができ、身だしなみにも気を配ることができている」と語ってくれました。

山田さんは、配食ボランティア以外にも、合唱やウォーキングなどの趣味活動にも積極的です。

「今後も体が動く限りは、無理なくボランティア活動を継続したい」と思いを話してくれました。

社会福祉協議会では、地域でボランティア活動を行う人を応援しています。「何かボランティアしてみたい」「どんな活動があるの」などボランティアに関する相談を受け付けています。お気軽にご相談ください。

連絡先：武豊町社会福祉協議会　生活支援コーディネーター　石野　靖
☎ 0569-73-3104

武豊町社会福祉協議会配食サービス

対象：町内在住の、おおむね65歳以上のひとり暮らし・日中独居の方や夫婦世帯、または障害者手帳をお持ちの方で、買い物及び炊事に支障がある方

配達：祝日、年末年始を除く月曜から金曜までの昼食

料金：おかずのみ　420円
おかず+ごはん 470円

※利用については社会福祉協議会までご相談ください。

地域包括支援センターコーナー

地域や会社、仲間と一緒に認知症について学びませんか?

高齢化とともに増え続ける認知症。今は誰もが認知症になりうる時代です。

「どんな病気?」「物忘れが増えてきたけれど認知症?」「どう接すればいいの?」そんな疑問を解決するために、地域包括支援センターでは、認知症をイチから学ぶための出前講座（認知症サポーター養成講座）を開催しています。開催方法や場所はご要望に応じて調整します。

商店や会社、事業所、老人クラブ、地域の集まりなど、ご連絡いただければスタッフがお伺いいたします。

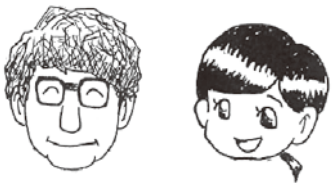
↑富貴区で開催した出前講座

『わたしたちがお伺いいたします!!』

出前講座の希望がありましたら、お気軽にご相談ください!

費用：無料

（問い合わせ先）地域包括支援センター TEL:74-3305（平日8:30～17:15）



担当：木伏（キフシ）　佐伯（サエキ）

車いすの貸出し

一時的に車いすが必要なときにご利用ください

通院や外出の際、一時的に車いすの利用が必要になった場合に社会福祉協議会が保有する車いすを短期間に限りお貸しします。

対　　象　町内に在住の方

貸出期間　15日以内

保 証 金　1,000円　※保証金は返却の際に全額返金

福祉車両の貸出し

7月より2台に増えました!!

車いすに乗ったまま乗降できるスロープ付きの車両です。病院への通院やお出かけが気軽にできる便利な車です。

対　　象　町内に在住で車いす利用をする方及び介助する方

貸出期間　原則1日
※旅行の場合は3日以内で貸出可能です。

貸出上限　原則週1回

利 用 料　無料
※ただし、消費した燃料を補充して返却をしてください。

貸出車両（2台）
スズキ　エブリィ
（車いす利用者、運転手含め最大4名乗車）
スズキ　スペーシア
（車いす利用者、運転手含め最大3名乗車）

手続方法　運転者の免許証を持参の上、社会福祉協議会窓口へお越しください。利用予約は、電話でも可能です。予約は貸出日の2か月前の同日から可能です。

注　　意　利用中の事故等に伴う損害賠償、修理の費用は、ご利用者様負担となります。

武豊町社会福祉協議会行事等の予定

8月	2019　AUGUST
1日	ほっとCafé（3･8･10･22日）
2日	リフレッシュカフェ
3日	手話奉仕員養成講座～基礎編～（24･31日）
8日	青少年等サマーボランティアスクール事前研修会
11日	おいでぁ三井家「おとなりカフェ 上ヶ」
12日	いこいこ笠松「おとなりカフェ 笠松」（26日）
13日	ここちゃんサポート相談 （ひきこもり･不登校の専門相談）
17日	ひきこもり･不登校の居場所開所
19日～30日	青少年等サマーボランティアスクール 体験期間
21日	知多南部3町福祉教育学習会
30日	愛知県老人福祉大会

9月	2019　SEPTEMBER
5日	ほっとCafé（7･12･14･19･21･26･28日）
7日	手話奉仕員養成講座～基礎編～（14･21･28日）
8日	おいでぁ三井家「おとなりカフェ 上ヶ」 おとなりカフェ馬場
9日	いこいこ笠松「おとなりカフェ 笠松」（23日）
10日	ここちゃんサポート相談 （ひきこもり･不登校の専門相談）
13日	リフレッシュカフェ
19日	理事会
21日	ひきこもり･不登校の居場所開所 防災ボランティアコーディネーターフォローアップ講座
26日	介護者のつどい

寄付御礼

令和元年5月31日～令和元年7月20日（敬称略）

社会福祉のためにたくさんの「まごころ」が寄せられました。深くお礼申し上げます。

皆様からいただいた寄付金・寄贈品は、寄付された方の希望される使途を尊重させていただきますとともに、社会福祉のため有効に活用させていただきます。

寄　付　者	寄付金・寄贈品
あいち知多農業協同組合 代表理事組合長　前田　隆	知多米（あいちのかおり） 150kg
匿名	衣類
武豊中学校昭和28年卒業生 代表　出口　修	11,600円
ガラス彫刻アートの会	54,820円
ユニー（株）“小さな善意で大きな愛の輪”募金運動ピアゴ武豊店 店長　山本雅文	17,919円

寄　付　者	寄付金・寄贈品
匿名	古切手
武豊町老人クラブ連合会チャリティーカラオケ実行委員会	81,259円
武豊町民ふれあいチャリティーゴルフ大会実行委員会	302,378円
竹内健二	10,000円
知多カントリー倶楽部	100,000円
知多グリーン倶楽部	20,000円
匿名	10,000円

じぶんのことは、じぶんできめる!

2019年度 権利擁護サポーター講座

受講無料

認知症になっても、障がいがあっても、地域で自分らしく生きていくためのお手伝いに必要な、基本的な知識を学ぶ全9回の講座です。

日　時 9月6日～11月22日　毎週金曜日　全9回

時　間 13:30～16:30

会　場
美浜町役場　生涯学習センター　研修室
住所：美浜町北方字十二谷125
（美浜町図書館内）

申込み・問合せ

特定非営利活動法人　知多地域成年後見センター
知多市緑町32-6　知多市福祉活動センター内
TEL：(0562) 39-2663　FAX：(0562) 39-2667
Email：chita-koken@ma.medias.ne.jp

	日程	講座内容
第1回	9月6日	地域でできること
第2回	9月13日	インタビューゲーム
第3回	9月20日	障がい等理解
第4回	9月27日	日常生活自立支援事業の概要と実態
第5回	10月4日	成年後見制度の概要と実態
第6回	10月11日	先輩の声
第7回	10月15日	同行訪問
	～	（権利擁護の支援を利用している現場に
第8回	11月15日	出て学びます）
第9回	11月22日	ふりかえり

「権利擁護サポーター」って?

認知症になってしまったり、知的障がいや精神障がいがある等の理由で自分で自分の行動や気持ちを決めることが難しい方がいます。

そういった方たちのことを知り、「自分で決める権利」を守るために、その方を温かく見守り、お話しを聞き、ちょっとした生活のお手伝いをしたり、地域の権利擁護の推進に協力していただける方のことです。

コミュニケーションにより役立つ!

聴き方講座　参加者大募集!

家族や友人の話をきくとき、ボランティア活動するときなどに役立つ、聴き方講座を開催いたします!
「傾聴」という言葉をご存知ですか?話をきくときのちょっとしたコツをつかめば話をきくこと、話すことはより楽しく、豊かなものになります。傾聴ボランティアとして活躍される方もいらっしゃいます!
話を「聞く」と「聴く」の違いって? 具体的なきき方とは? お友達も誘って是非ご参加ください。

講師
中部学院大学
小松尾　京子 氏

基礎編
日時：令和元年9月2日(月)　13：30～15：30
場所：思いやりセンター（役場敷地内）　2階会議室
内容：傾聴って何?　「聞く」と「聴く」の違いって何?
傾聴することで役立つ事

応用編
日時：令和元年9月9日(月)　13：30～15：30
場所：保健センター　2階視聴覚室
内容：具体的な聴き方を学ぼう
傾聴を体験してみよう

※基礎編、応用編どちらか一方の参加でも可能です。
電話もしくはメールにてお申込みください。

参加費無料!
定員30名
（予約優先）
武豊町在住の方は
どなたでも
参加可能

お申込み お問合せ先
武豊町地域包括支援センター
電話：74-3305　E-mail：houkatu@taketoyo-shakyo.com